

## 商品市況展望

平成 25 年 6 月 2 日記

### 豆腐業界が窮状訴え＝大豆高騰と乱売が圧迫

時事通信 5 月 31 日(金)19 時 1 分配信

個人の豆腐店やメーカーなどで構成する全国豆腐連合会は 31 日、東京都台東区内で集会を開き、輸入大豆が高騰する一方、スーパーの過当競争で適正価格での販売ができないと窮状を訴えた。集会には大豆の卸業者なども含め約 240 人が参加した。

豆腐連合会によると、輸入大豆価格の指標となる米国の大豆先物相場は昨年 9 月に最高値を付けた後、いったん下落した。だが、昨年末以降の急激な円安で、今年大豆の仕入れ価格は前年比 2 割以上も上昇している。

この豆腐の組合が円安を批判しているのかどうかはわからんが（輸入大豆が高騰する一方、スーパーの過当競争で適正価格での販売ができないと言っている）、マスコミのニュースではトラック組合の例や漁業組合の例も出し、「円安はダメだ。アベノミクスの負の側面だ」と騒いでいる。

ドル/円相場が昨年の 80 円→100 円まで円安になっているのだから、輸入価格がその分上昇するのは当たり前だ。当たり前だが、国内大豆価格はリーマンショック前にはもっと高騰していたし、その当時の為替は 120 円台だ。

だから豆腐屋の苦境を円安のせいや、ましてやアベノミクスのせいにするのは、ちょっと無理筋の話ではなからうか？

もっとも普通の人には、店頭豆腐価格には敏感でも、大豆価格なんて知らんだろう。先物市場なら、せいぜい知っているのは金価格や原油価格であり、東京商品取引所やシカゴ商品取引所の大豆先物価格を知ってる人は、その世界の人間という事だろう。だから「円安のせいで上がっているんだよ！」と言われれば、「そうかな？」と単純に思ってしまうのも当然かもしれない。

幾らなんでもそれだけで相場が動くはずもなく、例えばシカゴ相場はドル高なら下落するわけで、単純に東京がシカゴの写真相場なら為替の影響はそれで大きく低下する。

穀物相場の変動は、何よりも天候による収穫高の上下が大きいわけで、また中国の輸入やファンドの動向なども重要なファクターだ。また国内価格には、海上運賃の変動も為替と同等に大きな要因になる。

だが業者は、そういう価格変動の動向に詳しいはずであり、価格リスクを気にするならば、先物市場でヘッジすれば済むだけの話だ。価格転嫁が出来ないと愚痴ってもしょうがあるまい。大豆価格の高安は、2 倍どころか 5 倍くらいの上下をするのも良くある事だと知ってるでしょ！という話だ。シカゴの農家なら、当然の如くヘッジしてるぞ。

豆腐というのは、日本だけではなく米国や欧州でも人気なはず。値切り一方のスーパーとの取引よりもは、海外進出に活路を見出す方法もあるんじゃないのかしらん。

## 〔貴金属〕

○東京金日足  
…削除済み…

### 今週の金の値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
5月27日	¥4,523	-25	¥4,531	-19
5月28日	¥4,561	38	¥4,568	37
5月29日	¥4,544	-17	¥4,548	-20
5月30日	¥4,560	16	¥4,567	19
5月31日	¥4,602	42	¥4,607	40

金相場は、先週号においては『どちらかと言えば、まだ戻り売り有利の逆張りであろう。怖いところを逆張りする必要がある相場であり、短期売買に徹するのが良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、日替わりの上げ下げから、週末には4,600円台回復。しかしその後の夜間取引では、4,513円まで大きく下落している。

チャートでは、5,078円(4/11)→4,132円(4/16)までの946円幅の大暴落を演じた後、この5月は戻り高値4,760円(5/10)～4,430円(5/20)の330円幅の中での動きである。一目均衡表の雲(先行スパン)も横ばいであり、まさに方向感がつかめないところだ。

予想通りに、こういう時はまさに逆張りしか儲ける手はないわけだ。週末みたいに、まだ上がるのかな?と思わせておいて、いきなり100円幅をドカンと下げるわけだ。売りも買いも、追っかけてはダメなのである。

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥5,068	2月7日	¥3,940	7月24日	¥4,602
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥5,873	2月7日	¥4,125	4月16日	¥4,605
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥5,077	2月7日	¥4,129	4月16日	¥4,605
2013年12月	¥4,519	12月25日	¥5,081	2月7日	¥4,131	4月16日	¥4,606
2014年2月	¥4,759	2月26日	¥4,979	3月21日	¥4,132	4月16日	¥4,609
2014年4月	¥4,585	4月25日	¥4,760	5月10日	¥4,430	5月20日	¥4,607

○NY金日足  
…削除済み…

5/31のNY市場では、前日比18.9ドル安の1392.6ドルでの終了。高値1421.1ドル、安値1384.2ドルと上下36.9ドルの大きな変動である。為替は一時100.19円までの円高があり、101.25円の円安もあって、終値は100.43円と小幅に円高である。よって国内換算では95円安となっている。

この日下げた原因は、米経済指標が景気回復を示してドル高になる中、量的緩和政策の早期縮

小予測が台頭したためだ。OPEC の生産据え置きで、原油価格が下落したのも一因だろう。

またこの日は株式市場も 200 ドル超下げているわけで、**金と株との同時安**だ。この株の下げも量的緩和政策の早期縮小予測の台頭であり、今しばらくは金と株は反比例ではなく、同方向に動くものと想定している。つまり株が上がれば金も上がるし、株が暴落すれば金も暴落するだろう。

…中略… その場合の東京金の価格予想は難しいが、仮に 1380 ドルと仮定した場合は、  
○  $1380 \text{ ドル} \times 96 \text{ 円} \div 31.1035 = 4,259 \text{ 円}$ となる。

前々からコメントしていた「**下手すれば 1200 ドル割れまでの下げ**」というのは、一応今は W 底も確認しているようなチャートなので、何か凄まじい事が起きなければ**当面は無いとの判断**である。だから上記の 4,259 円辺りが、現在想定する最安値である。

一方で高値だが、…中略…

なお CFTC 発表の 5/28 現在のファンドのポジションは、…中略…

5/24 現在での ETF 残高は、…中略…

これらデータを見る限り、**金離れはまだ続いている**と言える。まだ本格的に買える相場ではないだろう。

結論として当方の相場観は、戻り売り中心の逆張り相場はまだ続くだろう。最悪の価格は 4,200 円台半ばと想定しているが、4,430 円が下値抵抗線であるし、上も下もまださほど大きくないのではないかと？

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
5月27日	¥4,774	-16	¥4,794	-12
5月28日	¥4,793	19	¥4,810	16
5月29日	¥4,836	43	¥4,844	34
5月30日	¥4,769	-67	¥4,778	-66
5月31日	¥4,813	44	¥4,830	52

プラチナ相場は、先週号においては『もみ合い相場の継続であろう。抜けるには何らかの新たな材料が必要だろうと見ている』とコメントした。

今週の相場展開は、29日・30日は金と逆行の動きとなったわけだが、概ね金とのサヤ調整の動きに終始。週末は上昇したものの、その後の夜間取引では一時4,757円まで下落している。

チャートでは、一目均衡表の右肩下がりの雲に乗って滑り落ちるように、徐々に値を消している状態である。かと言って、大きくは崩れずに推移している状況でもある。

一言で言えば、このプラチナ相場の方向感もつかめない状況である。上がっても下がっても、全然おかしくない状況だ。

先週号で「もみ合いの範囲は、4,600円～5,000円の範囲を想定している」としたが、その見方に変化無しである。

さて南アの問題もあって底堅いプラチナだが、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥5,267	2月7日	¥3,460	7月24日	¥4,813
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥5,274	2月7日	¥3,807	8月31日	¥4,813
2013年10月	¥3,998	10月29日	¥5,288	2月8日	¥3,933	10月30日	¥4,821
2013年12月	¥4,249	12月25日	¥5,300	2月8日	¥4,236	12月25日	¥4,820
2014年2月	¥4,831	2月26日	¥5,052	3月12日	¥4,310	4月16日	¥4,827
2014年4月	¥4,622	4月25日	¥4,999	5月16日	¥4,610	5月2日	¥4,830

○プラチナー金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,830円（プラチナ）－4,607円（金）＝223円。もう少し詰まれば、また仕掛け場かと思うが、もうマイナスにはならないのだろう。

結論として当方の相場観は、南ア問題という強材料を抱えているゆえに暴落はしないだろうが、上値もまた重いのもみ合い継続となるだろう。

## 〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	7月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
5月27日	¥34,400	150	¥27,650	120
5月28日	¥34,980	580	¥28,290	640
5月29日	¥35,670	690	¥28,560	270
5月30日	¥35,910	240	¥28,640	80
5月31日	¥35,650	-250	¥28,550	-90

まずはコーンから…

先週号においては『目先は多少、新穀と旧穀の逆ザヤを詰める動きが出るかもしれないが、相場のトレンドに変化を与えるほどのものではないだろう。仕掛け妙味はないだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、28日にもみ合い上放れした格好で上げ足を速め、28,790円(5/30)まで上昇。またその後の夜間取引では、28,870円の高値まで記録している。

仕掛け妙味はないだろうと、すべて降りてしまってから、もみ合い上放れとなった皮肉な相場展開である。もっとも、値幅はそんなに大した事はないが。

チャートでは年初来高値の更新であり、一代足も全限高値更新である…中略…

順当なところでは、26,000円～28,000円のレンジの倍返しなら3万円というところか。昨年はホッと&ドライの天候相場で、100億Buも取れないのでは？と警戒が高まり買い上げられたわけであるが、今年は「前年の107億8,000万Bu→141億4,000万Buへ、在庫率6.8%→15.5%と劇的に改善する」はずなので、3万円が近づいたら売ってみたい。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥36,050	5月30日	¥21,490	6月18日	¥35,650
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥33,550	5月30日	¥25,510	10月1日	¥33,140
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥28,910	5月30日	¥24,420	11月14日	¥28,600
2014年1月	¥25,700	12月17日	¥28,490	5月30日	¥24,930	12月21日	¥28,290
2014年3月	¥27,290	2月18日	¥28,540	5月30日	¥25,690	4月4日	¥28,270
2014年5月	¥26,550	4月16日	¥28,790	5月30日	¥26,520	4月30日	¥28,550

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末5/31のシカゴ市場は、7月限で前日比7.75セント高の662.00セント。12月限では4.50セント高の567.25セント。

シカゴのチャートは全く上がっていないが、新穀は先週よりも30セントほど高いわけで、為

替の調整よりもそっちに主眼が移ったか？

ただし 5/26 時点で 86%の作付が完了しているため、何で今そんなに天候プレミアムを買っているのか良くわからん。もちろん上がっている時ゆえ、降雨で作付面積が減少するのでは？とか様々な買い材料は噂されるわけだが。

なお CFTC 発表の 5/28 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、思わぬ時期にもみ合い上放れで新高値更新の相場となったが、こういう時は買わせるだけ買わせて天井を待つのが良いか。去年の凶作相場でも 3 万円天井だったわけで、天候プレミアムだけで買われているのならば、ここからは売り狙いである。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	6月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
5月27日	¥67,000	0	¥52,800	-390
5月28日	¥67,000	0	¥53,850	1050
5月29日	¥67,000	0	¥54,700	850
5月30日	¥66,000	-1000	¥54,530	-170
5月31日	¥66,280	280	¥54,580	50

続いて一般大豆です…

先週号においては『急騰も急落もまだまだあまり期待出来ないだろう。もみ合い継続の相場であり、しばらくは横ばいであると見る』とコメントした。

今週の相場展開は、28・29日の急騰で54,740円(5/29)まで上昇。2月の高値55,450円にはまだ届かぬが、3月・4月の高値は突破した。

コーンが年初来高値を更新する中で、大豆はまだ2月の高値も更新はしていないが、それでもこのところのもみ合いを上抜けた格好である。期近とのサヤも詰める格好であり、先物4本が一代高値の更新である。

5/26現在の作付進捗率は44%であり、大雨の影響で例年の61%、昨年同期の87%を大きく下回った事が、新穀の上昇要因である。…中略…

いずれにしたって、天候相場はまだまだ続くし、大豆の場合は中国の買い付けの問題がある。中国の汚染で大量に買いそうな気もするし、逆に中国経済が大きくリセッションすれば買わないような気もするし。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥70,000	5月14日	¥44,400	6月18日	¥66,280
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥64,900	5月16日	¥47,500	11月13日	¥63,600
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥64,810	5月29日	¥46,920	10月16日	¥65,590
2013年12月	¥50,680	12月17日	¥56,100	5月29日	¥48,450	1月9日	¥55,720
2014年2月	¥53,000	2月18日	¥54,700	5月29日	¥50,150	4月4日	¥54,270
2014年4月	¥50,910	4月16日	¥54,720	5月29日	¥49,850	5月2日	¥54,580

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末5/31のシカゴ市場では、7月限で前日比14.25セント高の1510.00セント。11月限では15.00セント高の1304.25セント。

旧穀は再び 15 ドル台乗せであり、新穀も先週から 60 セント近く上昇している。上昇要因は、作付に関する不透明感から天候プレミアムを買う気運である。

なお CFTC 発表の 5/28 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、作付懸念で買われている相場ゆえ、先に作付が完了するコーンが天井を打たないと、大豆は出遅れと判断される可能性もある。高値を追いかけて買いたい相場ではないものの、売りはまだ危険であろう。



## [ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

### 今週のゴムの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
5月27日	255.8	-5.0	265.9	-4.9
	6月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
5月28日	258.2	0.2	268.7	
5月29日	257.0	-1.2	267.4	-1.3
5月30日	247.4	-9.6	257.0	-10.4
5月31日	248.0	0.6	258.4	1.4

先週号においては『株式市場の急落から一気にストップロス確定。299.0円は天井であり、242.6円もまだ底値であるが、次のトレンド発生までは逆張りの時期に移行したと見ている』とコメントした。

今週の相場展開は、穀物は上値追い、貴金属・石油がもみ合いを続ける中で、ゴムは大きく下落。257.0円(5/30)まで大きく値を消した。

299.0円(5/13)で戻り天井を打った相場は、257.0円までの下げで42円の下落中である。チャートでは一目均衡表の雲の下にも抜けている。

現状ではまだ、逆三尊の底値である242.6円には15円ほどの余裕があるものの、割り込んで行くようなら戻りの倍返し186円台への暴落というパターンも無いとは言えまい。それがチャート判断という事であるが、そこまで悪い相場なのかどうかには疑問があるが。

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年5月	259.7	11月27日	329.0	2月6日	233.4	4月18日	<b>255.8</b>
2013年6月	286.0	12月21日	334.1	2月4日	236.7	4月18日	248.0
2013年7月	316.3	1月28日	337.8	2月6日	240.4	4月18日	249.9
2013年8月	301.0	2月25日	302.1	2月25日	241.3	4月18日	252.5
2013年9月	279.5	3月26日	297.7	5月13日	242.5	4月18日	254.5
2013年10月	253.7	4月24日	299.0	5月13日	250.8	5月2日	256.2
2013年11月	<b>267.7</b>	<b>5月28日</b>	<b>274.8</b>	<b>5月29日</b>	<b>257.0</b>	<b>5月30日</b>	258.4

当先のサヤは、6月限248.0円～11月限258.4円と**10.4円の順ザヤ**。順ザヤ幅は変わっていない。

**週末現在の輸入採算価格は、…中略…**

国内営業倉庫在庫は、5/10現在で457トン減の15,637トン。3旬ぶりの減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、18,000 元台まで下落。ほぼ 4 月の安値水準まで落ち込んでいる。東京市場の下落も、この上海市場の下げが大きな影響を与えているものと想定される。

ゴム自体の材料は、特に聞こえてきていない。戻るとすれば産地に比べて異常なほどに割安となった事だろうが、逆に言えば産地があまり下がっていないため、何の対策も出て来ていないわけだろう。何となく、株式市場次第のような気はするが。

結論として当方の相場観は、チャートは悪く、また戻り売りの相場になったと思われる。しかし安値を売ると、産地価格からは大幅に割安であるため、顎を刺される恐れがある。突っ込みは追いかけて、利食い千人力が良いだろう。

## 〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

まずは原油から…

先週においては『65,000 円は目天井であり、しばらくは 64,000 円近くまで戻れば売られるか。一方で 6 万円までの下げは、強気の相場観の中で許容範囲の下げであり、それに接近した場面は買い場となるだろう。逆張りの展開である』とコメントした。

今週の相場展開は、NY 原油は 92~96 ドルでの乱高下。週末 5/31 は、91.97 ドルと 92 ドル割れでの終了であり（高値 93.85 ドル、安値 91.56 ドル）、OPEC の生産据え置きなどで売られる展開となった。

97 ドル台で天井打ち（？）した相場は、ネックラインの 92.13 ドルを割れてチャート線形は悪化。W トップの格好となっている。

次の下値支持線は 90.11 ドルであり、そこまで下げれば完全に売りトレンドに変化するため、目指すは再び 85 ドル台という事になる。当方は、夏場に掛けて原油・石油製品相場は強いのでは？と考えていたのだが、そもそもの根本的なその考えから改めなければならないのかもしれない。

もっとも先週号からすでに、「今回も 97 ドル台で上値がつかえたところを見ると、どうも弱くもないが、強くもない相場だと相場観を訂正する必要があるようだ」としていたわけだが。

なお 5/31 現在のロンドンブレントは…中略…

なお 5/28 現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

今週の東京原油の動き

	5 月限(当限)	前日比	10 月限(先限)	前日比
5 月 27 日	¥63,850	-100	¥62,160	-460
5 月 28 日	¥63,990	140	¥63,080	920
5 月 29 日	¥64,100	110	¥63,980	900
5 月 30 日	¥63,890	-210	¥62,280	-1700
5 月 31 日	¥63,830	-50	¥62,060	-220

東京原油は、29 日までは戻り相場で 64,000 円台半ばまで反騰したが、30 日には急落して元の木阿弥。その後の夜間取引では、60,870 円まで大きく値を消している。

この格好だと、どうやら 65,000 円を天井とする W トップが形成された模様だ。6 万円が下値支持線かどうかは定かではなく、もう一度 57,000 円台にトライする可能性は高いだろう。

新たな買い材料が出ない限りは、戻しても 62,000 円~63,000 円程度であり、もう一度 6 万円は大きく割れ、本当に 57,370 円が底値であるかどうかを試すというのが、今のチャートの順当な見方であろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

#### 東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年5月	¥54,860	12月3日	¥66,830	2月12日	¥52,370	12月11日	<b>¥63,830</b>
2013年6月	¥58,080	1月4日	¥66,690	2月13日	¥57,320	1月8日	¥63,090
2013年7月	¥62,910	2月1日	¥66,460	2月13日	¥57,780	4月18日	¥62,690
2013年8月	¥60,560	3月1日	¥65,240	5月21日	¥57,360	4月16日	¥62,420
2013年9月	¥62,370	4月1日	¥65,100	5月21日	¥57,370	4月18日	¥62,240
2013年10月	¥59,500	5月1日	¥65,000	5月20日	¥57,510	5月2日	¥62,060

週明けに11月限が発会する。このサヤパターンだと、若干の下ザヤ発会となるのだろう。

結論として当方の相場観は、逆張り→戻り売り相場への転換である。大暴落があるとは思えぬが、Wトップ完成の相場は下値トライする可能性が高いだろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

### 今週のガソリンの値動き

	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
5月27日	¥73,500	-370	¥71,870	
5月28日	¥74,160	660	¥72,930	1060
5月29日	¥74,660	500	¥73,840	910
5月30日	¥73,450	-1210	¥72,570	-1270
5月31日	¥73,570	120	¥72,520	-50

続いてガソリンです…

先週号においては『7万円をストップロスに押し目買い方針の継続である。しかし目先は75,000円も壁になるだろうから、戻りは利食いの逆張り対処が良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けの12月限発会から戻り歩調に入り、71,500円→74,300円まで2,800円の上昇となった。しかし30日の急落から、週末の夜間取引でも大きく値を消し、往って来いの71,500円台まで値を消している。

チャートではW底→三段上げで、68,030円(5/2)→75,590円(5/20)まで上昇していたわけだが、どうやらその7,000円超の上げで戻りいっぱいとなったようだ。

週末の夜間取引の下げでチャートは悪化であり、71,500円を割り込むようなら、下げに拍車がかかるかもしれない(ギリギリまだ割れていない)。

その際の下値目標は、まずは7万円割れという事になるだろう。先週押し目買いしたものは、すでに逆張りで処理済みのはずであり、7万円のストップロスは逆に売り乗せの新規売りに変更である。

なお一代の推移は、以下のとおり。

### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	¥69,810	12月26日	¥82,280	2月13日	¥69,600	4月16日	¥73,570
2013年8月	¥76,550	1月28日	¥82,250	2月13日	¥69,600	4月16日	¥74,010
2013年9月	¥78,930	2月26日	¥79,590	3月12日	¥69,050	4月18日	¥73,640
2013年10月	¥74,630	3月26日	¥76,710	4月1日	¥68,150	4月18日	¥73,250
2013年11月	¥72,990	4月26日	¥75,590	5月20日	¥68,030	5月2日	¥72,770
2013年12月	¥71,760	5月27日	¥74,300	5月29日	¥71,500	5月27日	¥72,520

5/31 現在の業者間転売価格は、…中略…

5/25 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、大暴落するほどの相場ではないと思うものの、目先は75,000円台で天井を打った相場ゆえ、戻り売り方針が良いだろう。一度は7万円割れが出るだろうとの見方である。

○東京灯油日足

…削除済み…

### 今週の灯油の値動き

	7月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
5月27日	¥72,340	-460	¥74,830	
5月28日	¥73,170	830	¥75,730	900
5月29日	¥74,560	1390	¥76,820	1090
5月30日	¥73,470	-1090	¥75,650	-1170
5月31日	¥73,680	210	¥75,770	120

最後に灯油です…

先週号においては『大勢押し目買いに変化はないと考えるものの、目先は76,000円辺りは戻り売りを浴びるだろう。逆張りでの対処がベターか』とコメントした。

今週の相場展開は、74,000円台で始まった週明けの12月限発会から戻り始め、29日には77,000円台まで3,000円弱の上昇。しかしその後は値を消し、週末の夜間取引では再び74,000円台まで往って来い。

限月ごとの習性から順ザヤ相場となっている灯油であるが、大元の原油相場が弱いために、チャートの頭も重たくなって来ている状況だ。

このような情勢では、大勢押し目買いは1月限が発会してからの話で、今は逆張りからむしろ戻り売りに軸足を移す方がベターだと思える。大暴落するとまでは思えないものの、7万円割れ辺りまでの下落は、現在のチャートであればあってもおかしくないと判断する方が良いでしょう。

なお一代の推移は、以下のとおり。

### 東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年7月	¥68,440	12月26日	¥81,700	2月12日	¥67,320	4月18日	¥73,680
2013年8月	¥74,200	1月28日	¥82,030	2月12日	¥67,720	4月18日	¥73,800
2013年9月	¥76,550	2月26日	¥76,980	2月26日	¥68,340	4月18日	¥74,150
2013年10月	¥74,090	3月26日	¥77,270	4月11日	¥69,000	4月18日	¥74,590
2013年11月	¥75,350	4月26日	¥77,820	5月20日	¥69,850	5月2日	¥75,230
2013年12月	<b>¥74,610</b>	<b>5月27日</b>	<b>¥77,240</b>	<b>5月29日</b>	<b>¥74,490</b>	<b>5月27日</b>	¥75,770

5/31 現在の業者間転売価格は、…中略…

5/25 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、大勢での押し目買いは1月限が発会するまで封印。目先は戻り売りで、再度の大きな調整を待つのが良いでしょう。

## [為替・株式]

### ○ドル/円相場日足

…削除済み…

**103.73 円 (5/22)** まで円安が進んだ相場は、現在調整局面入りして **100 円台**へ。週末の NY タイムでは **100.19 円**の円高まで記録している。

調整と言ってもまだ4円もないわけであるが、さて100円を割るか、維持するかが焦点。当方は簡単には割れないと思っているが、**割れた場合は98円～96円台が調整の底値**だろう。

なお来週の主な予定は、

…中略…

などとなっている。やはり注目は、週末の米雇用統計か。

### ○日経 225 日足

…削除済み…

8,600 円台 (11/13) →15,900 円台 (5/23) まで 7,300 円 (1.84 倍) にも駆け上がった相場は、2,500 円ほどの下落調整局面となっている。永遠に上がり続ける相場などないのだから、これは当たり前だ。**現在は、上げ幅の3分の1押し**の最中だ。

仮に半値押しだと 12,200 円台という事になるわけだが、そこまで下がると一目均衡表の雲の下に出るので、それは無いだろうとの判断だ。

…中略…

### ○NY ダウ日足

…削除済み…

週末の NY ダウは 200 ドル超の下落。その分は入っていないわけだが、15,100 ドル台なのだから、5/22 の高値から 400 ドル強、わずか 2.5%ほど下げただけだ。

東京市場は 15%ほど下げているわけで、どこかで NY ダウ売りの日経平均買いなんて言うのはどうなんだろう？ そういう事が出来るのかと問われれば、ETF なら現物でも可能だ。

---

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)